

[anbai_06]

活動タイトル	教え方理論から学ぶ『教える・伝える』のツボ
実施日	2017年4月23日(日)
場所	江別市野幌公民館(江別市)
対象数	19人
内容	<p>えべつ地球温暖化対策地域協議会からの依頼で、同協議会の構成員と一般募集の市民を対象に、「教え方理論から学ぶ『教える・伝える』のツボ」というテーマで講演を行いました。</p> <p>環境団体ばかりではなく、多くの活動団体にとって、参加者に何かを教えたり、伝えたりすることは重要な要素です。もっと上手に教えたり、伝えたりしたいと思っている人も多いと思います。</p> <p>そこで、インストラクショナル・デザイン(教授設計理論)という考え方に基づいて「教えたり、伝えたりすることを、もっと効果的・効率的・魅力的にするためのツボ」を4つほど紹介しました。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 講座の目標を明確にすること■ 評価テストやアンケートは、講座の中身を考える前に作ること■ 教え方のゴールデンルールを利用すること■ 相手を惹き付ける「動機付けモデル」を利用すること <p>説明では、できるだけ参加者が興味を持ってもらえる話題を例にした他、ワークシートを準備して、自分なりの考えを整理してもらうことで、理解を深める工夫をしました。そしてそれらが、教え方のツボの実践例ともなっていました。</p> <p>参加者の皆さんは、何らかの形で教えたり、伝えたりする活動をされている方々ですので、今回の講座で紹介したツボから一つでもこれからの活動に活かしてもらえればと思います。</p>
実施写真等	